



世界が恋する海

座間味村

〒901-3496

住所：沖縄県島尻郡座間味村字座間味109

TEL：098-987-2311（代） FAX：098-987-2004

URL：<https://www.vill.zamami.Okinawa.jp/>

沖縄本島那覇市から高速船で西へ約50分。東シナ海に浮かぶ亜熱帯の島々「慶良間諸島」。

座間味村は、その西半分の島々、3つの有人島からなる離島村です。



那覇⇄座間味村の移動は高速船で50分と
便利な位置にあります。

座間味島⇄阿嘉・慶留間島間の移動は
村内航路「みつしま」です。

■信仰の島 座間味村

沖縄県内では、古来久高島と並び信仰の篤い島々といわれてきた座間味村。時代の流れの中で、衰退・消滅、簡素化された行事もありますが、各集落の自治会、青年会、婦人会をはじめ住民協力のもと、これからも大切な行事を受け継ぎ後世に伝えていきたいと考えています。

旧暦3月3日 『浜下り～流れ舟』

かつては女性のお祭りとされた「浜下り」。

今では少し様子が変わり、男女問わず総出の潮干狩りの日となっています。この日を心待ちにしていた村民で浜は大賑わいです。「浜下り」の後は「流れ舟」。サンシン、太鼓を打ち鳴らしカチャーシーで歌い踊る賑やかな「流れ舟」。神人の乗せた舟を先頭に、大漁旗を掲げた島の船が港を回船し豊漁を祈願します。

旧暦8月20日頃 『海御願』

1年間の感謝と今後の航海安全、豊漁を海神様に祈願する「海御願」。

海神様に供える魚を獲る人、調理する人、神酒をつくる人、会場設営他多くの住民協力のもと行われる「海御願」。泳ぎに自信のある人！ぜひ魚獲りからご参加ください！3島の各集落それぞれの伝統を今に引継ぎ、海の民、座間味村民にとって大切な神事です。

座間味村の歴史

明治41年（1908年）村制施行



唐船貿易の中継地（1350年）

沖縄本島那覇市から西へ40キロという地理的な利便と、島々がつくる波静かな内海。
この地形を生かし、かつては琉球王朝による唐船貿易の中継地として栄えた歴史を持つ座間味村。
古来から海洋思想に富んだ本村からは海事に長けた船乗りを多く輩出しました。
今も残る屋敷跡は当時の船頭の地位と豊かさを伝えています。

国指定重要文化財 高良家（慶留間島）



鰹漁業創業の島（1901年）

明治34年初代村長松田和三郎によって沖縄県で初の鰹漁業を創設し、全県に広めた。
「慶良間節」は良品として扱われたそうです。
後継者不足などの事情で一時は途絶えた鰹漁業ですが、現在は島の漁師たちが島の水産業を支えています。



米軍上陸と「集団自決」（1945年）

座間味村は沖縄戦において、米軍最初の上陸地となり、多くの尊い命が奪われました。
村内には当時の住民が避難した防空壕（ガマ）や、御霊をまつる慰霊碑など、沖縄戦の記憶を伝える戦跡が多く現存しています。
村では沖縄振興特別推進交付金（一括交付金）を活用し、戦争体験者の証言をデジタルコンテンツ化している。村内に点在する戦跡や戦争記念碑の周辺整備を行いました。
座間味村の戦跡めぐりを通し、多くの方が平和についてあらためて学び、感じ、ともに未来へとつないでいけるような平和学習環境を整えてまいります。

平和の塔（座間味島）



観光立村へ（1978年）

昭和53年（1978年）に沖縄海岸国立公園に指定された座間味村。
サンゴ礁が発達した美しい海中景観を求めて観光客やダイバーが集う島となりました。
年間の入域観光客数が過去最高の10万人を越えたのは、国立公園に指定された翌年の平成27年（2015年）。
国立公園に指定された今、村民、来村される皆さまに環境保全への理解を深め、関心を持って頂けるよう環境省により慶良間諸島国立公園ビジターセンターが整備されています。

ぞ

「座間味村ならではの」の個性を生かした取組で地域の活力を増大！！

国立公園指定後、10万人を達成した観光客数は、新型コロナウイルスの影響により大幅に減少。これは大きな痛手となりました。ですが座間味村の魅力が失われたわけではありません。

観光産業はこれからも座間味村を発展させていく上での軸となり続けていくと考えられます。

座間味村だから必要！！な施策を一緒に考え取り組んでいきましょう！！

冬の座間味 ホエールウォッチング
ザトウクジラのブリーチ



ま

「また訪れたい」「ここで頑張りたい」と思える村づくりを進め、賑わいを将来に繋げていきたい！！



座間味村の人材・自然・文化等を生かして「新たな価値」を提供することで、年間を通じた誘客を実現し、安定した雇用の創出したいと考えています。

座間味村を含む沖縄離島は夏場に観光客が集中する為、「季節重労働現象」、「天候の影響を受けやすい」等々の問題があり産業・雇用が安定しにくいという課題があります。

ゴールは那覇！梅雨明けのサバニレース
古座間味ビーチ

み

みんなで子育てを支え、若い世代の出産・子育ての希望をかなえる

座間味村は2060年まで、総人口800人超の水準を維持する目標を掲げています。

座間味村では希望を持って安心して暮らせる環境づくりを行い、出生数の減少を抑制・回復させると同時に、人口転出を減少させたいと考えています。

離島ならではの課題と向き合いつつ、村民の声に耳を傾け、要望に寄り添った施策を考えていきましょう！！

休日にはダビングやシュノーケリング、釣りで海を満喫♪





住 民 課

1日のスケジュール

- 8 : 20 出勤
- 8 : 30 メール確認
- 10 : 00 来客・電話対応
- 12 : 00 昼食
- 13 : 00 各種調査物確認
- 15 : 00 各種申請書類確認
- 17 : 15 退勤

■ 仕事内容

- ・ 住所異動（お引越しに関する業務）
- ・ マイナンバーカード業務
- ・ パスポート窓口業務 ・ 戸籍業務

■ やりがい

生活基盤である住所手続きに携わることで村民の皆さまの暮らしに貢献しており、大きなやりがいを感じます。

■ きっかけ

離島合同採用試験をきっかけに座間味島に興味を持ちました。離島の中でも国立公園指定の豊かな自然と那覇へのアクセスの利便性を併せ持つ、座間味村に魅力を感じ、志望しました。

■ 大変な所

大きな自治体の職員が一つの業務を複数で担当するのに対し本村は担当者が一人であるというのが大変な所です。その分、自分自身のアイデアが通りやすく、他自治体よりも行政を自分の手で変えていけます。

■ 仕事内容

- ・ 学校教育にかかわる業務
（教職員人事手続・業務改善/児童生徒の学習環境整備/給食関係など）

■ やりがい

自分の仕事が直接子どもたちの学校生活を支えていると感じられることです。

■ きっかけ

友人が座間味島出身だったことから旅行で訪れ、島の雰囲気好きになったことです。

■ 大変な所

教育は生き物と同じで、日々刻々と状況が変化するため対応に追われることが多いです。その分取り組んできたものが目に見える形になった時の嬉しさはひとしおです。



教育委員会

1日のスケジュール

- 8 : 20 出勤
- 8 : 30 朝礼
- 8 : 40 メール確認
- 10 : 00 各種調査物報告
- 12 : 00 昼食
- 13 : 00 学校と連携
- 15 : 00 企画立案等
- 17 : 15 退勤